

！ 一般会計予算に反対

議案第41号「平成31年度高梁市一般会計予算」について、10

月から消費税が導入されるのに伴い、学校給食費が値上げされるが、むしろ食育の観点から無料化を検討すべきである。また水道料金は増税分の値上げになるが、水道は暮らしに直結するものなので引き上げに反対する。



高梁市図書館の1億6000万円の指定管理料については、図書館は教育施設であり、直営を求める立場から反対する。また指定管理者であるCCCは、

Tポイントカードの個人情報情報裁判所の令状もない中で警察に渡すなどしており、指定管理者としてもふさわしくない。

また順正学園吉備国際大学に優先的に1億円の支援金が毎年計上されており、市民生活を応援する立場から、偏重した支出と考える。

議案第42号「平成31年度高梁市国民健康保険特別会計」について、新年度予算では国民健康保険税は現状維持とされた。国民健康保険制度は行き詰まり、全国知事会でも国費投入を求めている。市民負担は現状維持という事で反対はしないが、高すぎる国民健康保険税は受診抑制による重症化や、支払うことができない加入者が増加させることにつながるのではないかと、市民負担の引き下げのために頑張ってもらいたい。

請願第1号「後期高齢者の

窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書」について。総務省の家計調査によると、高齢者無職世帯の1カ月の家計は5万円の不足で貯蓄から取り崩す生活である。年金の引き下げや消費税増税のため大変であり窓口負担を2割とすることがないよう願う。

請願第2号「種子法廃止に伴い岡山県の取組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める請願書」について、種子法の廃止により種子の安定的供給が損なわれるので、公共品種を民間に委ねず厳重な管理体制を設ける等県条例の制定を求める。(石部 誠議員)

！ 一般会計予算に賛成

議案第27号「平成30年度高梁市一般会計補正予算(第6号)」について、事業費の確定による21億円余の減額となっているが、昨年の7月豪雨災害の影響により、見直しや延期された事業について再検討が必要と考える。また継続費補正として島木川内水排除整備事業があるが、防災減災の意味からも豪雨災害の浸水箇所の内水排除の調査・研究・対策を期待する。



島木川内水排除設備

議案第41号「平成31年度高梁市一般会計予算」について、災害からの復旧・復興に重点配分するとの説明があった。異論を唱えるものではないが、国からの交付税の縮減などで、本市の財政運営は厳しい状況にある。重点施策への予算配分は重要でシビアな問題であるが、将来への投資になる子育てや教育が最も重要と考えるので、重点配分をお願いする。

請願第1号「後期高齢者の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書」について。高齢者の医療費の窓口負担が1割から2割になるだけならば問題であるが、国の医療制度を維持するには構造の体質改善、受診行動の適正化や給付内容の見直しも必要である。負担だけを問題とするこの請願には賛同できない。

請願第2号「種子法廃止に伴い岡山県の取組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める請願書」について、種子法は昭和27年、食糧難だった時代に制定され、平成30年4月1日をもって廃止された。一部企業や民間による種子の私物化や品種の独占などが指摘されるが、種

苗法や食品衛生法の規制もある。県でも要綱が決められているので不採択すべきと考える。(伊藤泰樹議員)

3月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

件名	伊藤	森	平松	森上	三村	黒川	石田	石部	石井	内田	宮田	森田	倉野	川上	宮田	川上	大月
平成31年度高梁市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
「後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書	●	●	○	○	●	●	●	○	●	欠	●	●	●	●	●	●	●
種子法廃止に伴い岡山県の取組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める請願書	●	●	○	○	●	●	●	○	●	欠	○	●	●	●	●	●	●

※議長は採決に加わりません。◎他の議案は全会一致で可決しました。

議会ICT化推進特別委員会を設置しました

議会のICT化推進に関する調査研究を行うため、議会ICT化推進特別委員会を設置しました。

今後、議場へのIT機器持ち込みや、IT機器の活用について話し合います。

- 委員長 川上 博司
- 副委員長 森上 昌生
- 委員 大月 健一
- 委員 宮田 公人
- 委員 石田 芳生
- 委員 石井 聡美

